

## 勝林寺寺報

物でなく心の糧で子は育つ

これは瀬戸内の漁港のある町の街角の、白い大きな標柱に書かれてあつた標語です。父さんお母さんやおかあさんが、子育ての苦労のなかから、身をもつて発見されたこのことを、なんでも後輩の若いお父さんお母さんに伝えたいという願いから、こうして街角に掲げてくださっているのです。

物でなく心の糧で子は育つ

確かに今どき、子供を教育するには莫大な金がかかります。金がなければ子では育てられないという世の中です。それについて、金をこやしにして子供を育てる風潮が生まれてしまつたのでしよう。それに、忙しい親にとつては、金と物を与えておきさえすれば子供が育つのなら、これほど楽な子育てはないからでしょう。

しかし、金と物では結局子供のいのちはまつとうには育ちませんでした。そんなの町の人達は考えたのでしょうか。子を育てる前に、まず私達親が、ちゃんと生きなければ、親自身、物と金にふりまわされる暮らしではないに、もつとしゃんとした。ということは、金があると生きていけるよ、うな、そんな親であつてこそ、子を育てる資格がある。とにかく親が、どんなときにもゆるぎなく生きていく、いのちの依りどころ、心の糧へかけてーを持つて生き抜こう。こう決意し、みんなで申し合わしたの

そこで、この町の青少年育成協議会はまず、親自身の心の糧、いのちの拠り所をというところから始めたのだそうです。

ちょうどお彼岸会のご法座が、この町の山手のお寺で勤まつていました。漁師の多い町ですのに、昼も夜もその寺の大きな本堂は超満員の御参りでした。そこに子育てまつ最中の若い人が子供づれでお念仏している姿に私は感動しました。物でなく心の糧で子は育つ

別修(敬老)報恩講にて勤修にうりての(依頼)



例年お勤め致しております「別修(敬老)報恩講」を今年も賑々しく相勤めたく存じます。ご存じの通りこの別修報恩講は、お参りするための足が得にくいお年寄り(七十才以上)の、その足に私達がなつてお迎えし、老若共々おみのりのかでの一夕を楽しく過ごさせていただきたいとお勤めする仮壯・仮婦の大切な行事です。

仮壯・仮婦の皆さん。仏事などとぞ趣旨ご理解いたふだき一人でも多くご協力ご参詣くださいますようお願ひもうしあげます。

九月一一一一日  
永井 茂  
儀式

勝林寺仏教青年会会長

平野野  
勝林寺仏教婦人会会長  
文藤 藤

日田子  
松枝

賢者は  
學びたがる  
(チエホフ)

## 行事件要記念志御礼

京都移転四百年記念行事についての懇志上納に關しましては、昨年来ご協議願い会計から本山へ納金を済ませております。今般基本金立て替え払い返済というかづれでお念仏している姿に私は感動しました。ことに子育てまつ最中の若い人が子供づれでお念仏している姿に私は感動しました。物でなく心の糧で子は育つ

たところ、秋彼岸までに完納いたしました。ご懇意のほど衷心より感謝申し上ます。寺報紙面でもつて厚く御申上げます。

十月十二日(木)

受付開会	5:00
おつとめ(正信偈)	5:30
ご法話	
ビデオ	
おとき(懇親演芸会)	

- 5、申込  
申込書により10月10日までに勝林寺へ申し込んでください。  
6、高齢者勧誘  
仮婦役員は案内状により一人でも多く声をかけお誘いください。10日までに集約してご報告ください。
- 7、仮壯・仮婦の皆様へ  
おとき(懇親演芸会)
- 8、仮壯・仮婦の皆様へ  
おとき(懇親演芸会)
- 9、仮壯・仮婦の皆様へ  
おとき(懇親演芸会)
- 10、仮壯・仮婦の皆様へ  
おとき(懇親演芸会)
- 11、仮壯・仮婦の皆様へ  
おとき(懇親演芸会)
- 12、仮壯・仮婦の皆様へ  
おとき(懇親演芸会)
- 13、仮壯・仮婦の皆様へ  
おとき(懇親演芸会)
- 14、仮壯・仮婦の皆様へ  
おとき(懇親演芸会)
- 15、仮壯・仮婦の皆様へ  
おとき(懇親演芸会)
- 16、仮壯・仮婦の皆様へ  
おとき(懇親演芸会)
- 17、仮壯・仮婦の皆様へ  
おとき(懇親演芸会)
- 18、仮壯・仮婦の皆様へ  
おとき(懇親演芸会)
- 19、仮壯・仮婦の皆様へ  
おとき(懇親演芸会)
- 20、仮壯・仮婦の皆様へ  
おとき(懇親演芸会)
- 21、仮壯・仮婦の皆様へ  
おとき(懇親演芸会)
- 22、仮壯・仮婦の皆様へ  
おとき(懇親演芸会)
- 23、仮壯・仮婦の皆様へ  
おとき(懇親演芸会)
- 24、仮壯・仮婦の皆様へ  
おとき(懇親演芸会)
- 25、仮壯・仮婦の皆様へ  
おとき(懇親演芸会)
- 26、仮壯・仮婦の皆様へ  
おとき(懇親演芸会)
- 27、仮壯・仮婦の皆様へ  
おとき(懇親演芸会)
- 28、仮壯・仮婦の皆様へ  
おとき(懇親演芸会)
- 29、仮壯・仮婦の皆様へ  
おとき(懇親演芸会)
- 30、仮壯・仮婦の皆様へ  
おとき(懇親演芸会)

十一日	十二日	十三日	十四日	十五日	十六日	十七日	十八日	十九日	二十日	二十一日	二十二日	二十三日	二十四日	二十五日	二十六日	二十七日	二十八日	二十九日	三十日
永玉講(西野)	五生氏宅法事																		
基幹運動企画委員会(神戸)																			
会報編集委員会(神戸)																			
兵庫教区法要記念行事推進委員会(神戸)																			



十月のよみ



出石組第六期  
「連研」をして  
終了して  
成田 弘子



この世に誕生し  
てより六十年の  
歳月は、長いよ  
うで短く、短い  
ようで長い年月  
でございました

この年齢にな  
つて私は、いつ  
やらほどからか  
心の転機を求め

ておりました。  
浄土真宗の家に生まれ、浄土真宗の家  
に嫁いでおりながら、真宗の教えを全く  
知らずに果てるることは、先祖に申し訳な  
いと思うようになり、尊い親鸞さまのみ  
教えをどこかで学びたいと考えております  
した。

その願いがかなえられる時期がきたの  
でしょか、お寺様が「連研」のあるこ  
とを教えてくださいまして、私は喜んで  
参加させていただきました。

正直に申しまして、はじめは理解でき  
にくいくことも多くありました。回を重  
ねるごとに、わからぬながらも少しづ  
つわからせていただけますようになります。  
たいへん有り難く喜んでおります。

これまで、如来様とは、遠い彼方の  
存在であつて、死んでから救つてくださ  
るのだとばかり思つていましたが、それ  
は大きな誤りであつたことを教えていた  
だきました。

如来様は、私の今の心中、くらしの  
中にいてくださつて、声なき声で私をみ  
ちびき励ましてくださるのだ。いつでも  
どこにいても私一人ではない、如来様と  
いっしょなのだと思えば、淋しい時でも

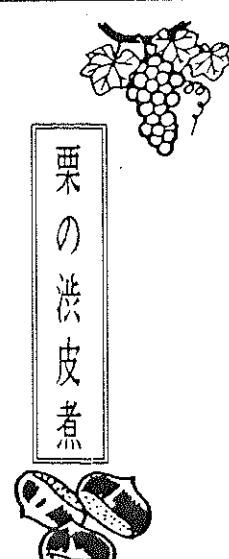
心強くおもえ、如来さまをとても身近に  
感じられるようになりました。子供の頃、祖父が常にお念仏を唱えておりましたことをなげなく見ておりました。今になって懐かしく思い出してあります。

この度の「連研」に参加できたのも、思えばやはり大勢の先祖が導いてくださつていたのだと思わせていただき感謝しております。

それにこの「連研」で讃歌を教えていい  
ただきましたこと、嬉しいことでござい  
ました。

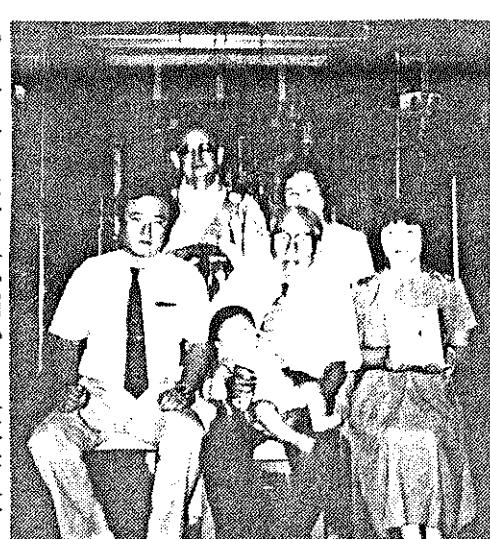
歌つておりますとなぜかわからない涙  
があふれ、法悦の境にひたつて幸せ  
をよろこばせていただきました。永遠の命をいた  
だいている自覚と共に、

おもえ、残り少ないこれから的人生  
は、「連研」で学んだ教えを基にして、  
法座にもお参りし、生き生きと浄土への  
道を歩ませていただきたいと思います。



み仏と共に歩めば  
道は明るく 心安けし

材料	栗	砂糖	重炭酸ソーダ	大さじ一	五杯
作り方	1 吉	砂糖	三〇〇～五〇〇グラム	大さじ一	五杯



九月十一日、横山雅人(まさと)くん  
(一月生)の初参式がおこなわれました。  
父(誠さん)母(啓子さん)と祖母(房枝さん)  
に伴われてお参りしてきました。雅人くんはいかにも男の子らしい元気な赤  
ちゃんでした。ご門主さまのご消息を読み合  
いました。皆でお念仏の子を育てるこ  
とを誓いました。

仕事が忙しいとか、好き嫌いにまかせ  
て、特定の食べ物ばかりを繰り返して食  
べていると、食生活に変化がなくなつて  
しまいがちです。好きなものをおいしく  
たべるのはよいことですですが、問題はそ  
の過ぎることにあります。食品のなか  
の発癌物質の濃度は、たいていはそれほ  
ど高くはないのですが、同じ食べ物ばかり  
食べつづけることは、癌のみならずほ  
のかの病気をも誘発するのです。以前問題  
になつたことですが、牧場でたくさんワ  
ラビを食べた牛に“ぼうこうがん”が発  
生しました。これは、ある特定の食品のな  
かで多量に、しかも、毎日食べつづける  
のは避けたほうがよいという例として  
受け取つてよさそうです。だからといつて毎日ニンジンばかりたべて  
いるのではなく、もつとほかの緑黄色野  
菜(葉菜類、小菜類)から、カロチンを取  
ることが望ましいということです。バランスよく変化のある食生活を心がけ  
ましょう。

2 1983年  
11月11日、横山雅人(まさと)くん  
(一月生)の初参式がおこなわれました。  
父(誠さん)母(啓子さん)と祖母(房枝さん)  
に伴われてお参りしてきました。雅人くんはいかにも男の子らしい元気な赤  
ちゃんでした。ご門主さまのご消息を読み合  
いました。皆でお念仏の子を育てるこ  
とを誓いました。

654321  
6、緑黄色野菜をたっぷり。適量のビタ  
ミンと纖維質のものを多く。  
7、塩辛いものは少なめに。熱いものは  
たばこを少なくする。  
8、焦げた部分はさける。  
9、かびの生えたものに注意。  
10、日光に当りすぎない。  
11、適度にスポーツをする。  
12、体を清潔に

がんを防ぐための  
十一年春草

